

## RMC クリーンフォース

### 自動車用 (3E) エンジン内部洗浄液

注入手順 ※重要ポイントは以下です。

1. エンジンを十分暖める 水温=通常レベル
2. できるだけエンジンブロックに近いところを開口する。  
霧化したRMCが吸入途中に液化し、エンジン内に吸入されずにダクトに溜まってしまうことがあるため

1. エンジンを止め、サイドブレーキをかけて下さい。
2. 吸気マニホールドホースもしくはエアフィルターを取り外します。  
吸気ダクトにセンサー類がある場合は、センサー部よりもエンジン側を開口して噴射口を作ってください。  
ガソリン車でインジェクションの場合はブローバイホースを取り外しマニホールドホースより噴霧注入できます。  
ターボ車の場合はタービン直前が理想ですが、ホース類の取外しが困難な場合が多く、無理がある場合はインマニ前でも構いません。
3. エンジンの回転数をアイドルより500回転ほど上げて下さい。おおよそ1200回転以下  
小排気量車だと注入時にエンジンが停止する場合がありますので、止まらない程度に**注入・噴霧量で加減**して下さい。(回転数は上げすぎない)
4. ハンドスプレーの黄色の安全ピンを抜き、先端ノズルの締め込みを確認します。(先端ノズルを取外すと霧化しません)
5. 目安として100馬力当たり200ccほど噴霧注入します。  
適量注入量が入り、内部の汚れに浸透すればマフラーより白煙(水蒸気)が出てきます。(回転数が高い場合や注入量が少しずつの場合は見えないこともあります)
6. 白煙が発生しましたら噴霧注入は完了です。3~5分後にエンジンの回転数をフルの80%~90%まで10回程度断続的にアクセルをあおって軟化分解されたカーボンを排気圧力によりマフラーから排出させます。汚れの程度により2~3回繰り返して下さい。
7. 施工後は5~15分エンジンを止めないで下さい。そのまま走行しても構いません。(RMC洗浄液はエンジン内でカーボン/デポジットに浸透しています。直後のエンジン停止は X です。)

#### 効果

**正しく使用された場合には下記の効果が期待できます。**

- (1)エンジンの調子を効果的に維持します
- (2)大気汚染物質の発生を大幅に抑える
- (3)エンジンオイルの汚れが少なくなる
- (4)部品の摩耗が少なくなる
- (5)燃焼効率が上がる(戻る)事による燃費の改善
- (6)エンジン内部の腐食を防止

## RMCの特性

### 成分

- 1) 第三アミンを主とした陽イオンまたは非イオンの界面活性成分
- 2) 沸点 摂氏230～280度のタール酸
- 3) ミネラル成分を除去した蒸留水
- 4) プロピレングリコール

### 物性

- 1) PH値 7.1～7.5
- 2) 比重 1.017
- 3) 臭気 マイルドで不快感無し
- 4) ナトリウム含有量 0.03 ppm
- 5) カルシウム含有量 0.01 ppm
- 6) カリウム含有量 0.05 ppm以下
- 7) 凍結温度 零下15度
- 8) 不燃性

参考ムービー YouTube

<http://www.youtube.com/watch?v=8sbngyfQgyk>

日本ジープセンター通販部 <http://jeep.shop-pro.jp/>  
03-6679-8592

## 洗浄時の注意事項

本液を水やオイルに混ぜないこと、原液のまま使用し、エンジン内部洗浄以外には使用しないこと

本液注入時にエンジンの開口部より雨水や砂などの異物がエンジン内に吸入されないように施工状態に気を配ること

適正アイドルリングにて注入後、排気管より白煙が出ない場合には本液がエンジンに吸入されていないかも知れません。注入状態を確認して下さい。

汚れがひどいエンジンの場合、辺り一面の大量カーボンが排出されることがあります、近所迷惑にならないような場所で行って下さい。

この説明書を読まれて使用方法に不安のある方や、インジェクション車の場合には自動車エンジンに詳しい専門家などの立ち会いの下で施工して下さい。